

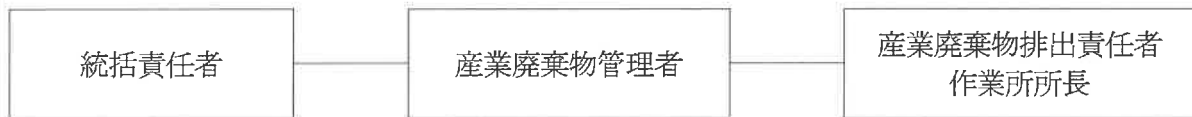
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 27 日	
岐阜県知事 殿	
提出者 住 所 岐阜県恵那市長島町中野上沼36-5 氏 名 恵中建設株式会社 代表取締役 鈴木 恭彦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0573-25-3746	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	恵中建設株式会社
事業場の所在地	岐阜県恵那市長島町中野上沼36-5
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	101,683 万円
③ 従業員数	23人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>各現場 → 産業廃棄物収集運搬委託または自社運搬 → 中間処理業者</div> <div>岐阜県 令和 6.6.27 受領 第 号</div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・材料の搬入数量を適切に管理し余材の発生を抑える。 ・梱包材の簡素化の要請 ・発生材の分別徹底による再生利用の促進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・材料の搬入数量を適切に管理し余材の発生を抑える。 ・梱包材の簡素化の要請 ・発生材の分別徹底による再生利用の促進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート破片・アスファルト破片・木くず・金属くず・廃プラスチック類・紙くず は、場所及び保管袋などにより分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート破片・アスファルト破片・木くず・金属くず・廃プラスチック類・紙くず は、場所及び保管袋などにより分別する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施していない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	+	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・産業廃棄物を適正に処理できる業者と委託契約を結んでいる。		
	別紙のとおり		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">別紙のとおり</div>		
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物を適正に処理できる業者と委託契約を結ぶ。 ・委託処理業者の現地確認の実施。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現 状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設工事の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏ボード
	排出量	497.8 t	354.2 t	260.3 t	25.6 t	42.3 t	1.1 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	排出量	12.6 t	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.8 t
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—
	排出量	—	—	—	—	—	—
	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設工事の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏ボード
	排出量	472.9 t	336.5 t	247.3 t	24.3 t	40.2 t	1.0 t
② 計 画	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	排出量	11.9 t	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.8 t
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—
	排出量	—	—	—	—	—	—
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—
	排出量	—	—	—	—	—	—

別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
① 現 状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設工事の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏ボード
	自ら再生利用を行った産業廃棄物量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物量	—	—	—	—	—	—
② 計 画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設工事の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏ボード
	自ら再生利用を行う産業廃棄物量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物量	—	—	—	—	—	—

別紙

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
① 現 状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート 破片	アスファルト・ コンクリート破片	建設工事 の木くず	金属くず	廃プラス チック類	石膏 ボード
	自ら熱回収を行った産業 廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有 産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	自ら熱回収を行った産業 廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
② 計 画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート 破片	アスファルト・ コンクリート破片	建設工事 の木くず	金属くず	廃プラス チック類	石膏 ボード
	自ら熱回収を行う産業廃 棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量 する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有 産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃 棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量 する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

別紙

自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現 状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設工事の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—	—	—		
② 計 画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設工事の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現 状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート 破片	アスファルト・ コンクリート破片	建設工事 の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏 ボード
	全処理委託量	497.8	354.2	260.3	25.6	42.3	1.1
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	497.8	354.2	260.3	25.6	42.3	1.1
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有 産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	全処理委託量	12.6	0.1	0	0	0	0.8
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	12.6	0.1	0	0	0	0.8
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
② 計 画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート 破片	アスファルト・ コンクリート破片	建設工事 の木くず	金属くず	廃プラスチック類	石膏 ボード
	全処理委託量	472.9	336.5	247.3	24.3	40.2	1.0
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	472.9	336.5	247.3	24.3	40.2	1.0
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	石綿含有 産業廃棄物	建設汚泥	がれき類	鋼さい	紙くず
	全処理委託量	11.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	11.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

